

令和5年度事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

人口減少・少子高齢化が進むとともに労働人口の減少は深刻な問題であります。このため、地域社会の担い手として高齢者の果たす役割はますます重要となっています。

このような中で、シルバー人材センターの目的達成のため、高齢者に働く機会を提供し、高齢者の生きがいの充実や健康維持、社会参加の促進を図るなど諸事業に取り組んできました。令和5年度の当センターの事業実績は、新型コロナウイルス感染症の影響も薄れ、前年度と比較し増額の結果となりました。

今後も引き続き、新規就業の拡大を図るとともに、定期的に入会説明会を開催するなど会員を増やす努力を継続します。また、年間を通して安全・適正就業の推進、会員の資質向上等にも取り組んでまいりました。

(1) 安全適正就業の推進

安全・適正就業推進員による就業現場の巡回指導を実施し、就業会員の安全適正就業に努めました。

安全委員会においては、事故0を目指して「植木剪定安全講習会」、「就業者全体会議」を開催するとともに、各会議等で安全啓発の時間帯を設け安全就業の徹底に努めました。

- ① 11月12日：植木剪定安全講習会を開催し、植木剪定作業の実技を学びながら安全意識の高揚を図りました。(9名の参加)
- ② 12月8日：シルバー就業者全体会議において「安全就業について」の教育を実施しました。(41名の参加)

(2) 会員の確保

入会説明会を定期的に行うとともに、推進員による会員拡大や会員による声掛けを行いました。なお、入会説明会は町広報紙及び当センターの広報紙に掲載し周知を図りました。新規会員として12名の加入がありましたが、今年度の正会員数は140名で昨年度と比較し8名減となりました。

入会説明会：4月21日、7月15日、8月23日、10月7日、12月9日、2月20日の6回開催し会員確保に努めました。その他、随時希望者へ入会に関する説明を行いました。

(3) 就業開拓の推進

推進員による訪問活動を実施するとともに、一人でも多くの会員にその希望と能力に応じた仕事ができるよう就業機会開拓の推進を図りました。

皆野町から指定管理者の指定を受けている「皆野町老人福祉センター長生荘」については、適正な運営を行いました。

(4) 財政基盤の安定

シルバー人材センターを運営していくうえで、財政面の安定は最も重要な課題です。事務・事業の効率化を図り、最少の経費で最大の効果が得られるよう諸事業について見直しを行うなど、運営に専心しました。

(5) 会員の資質向上

会員の資質向上のため、「シルバー就業者全体会議」において、皆野町長（柴崎勉氏）を招き講話をいただきました。

その他、主な講習会は下表のとおりです。

期 日	内 容	場 所	人 員
4 月 7 日	長生荘消防訓練	長生荘	20名
4 月 15 日 12 月 8 日	刈払機取扱作業安全衛生教育講習会	秩父みどりが丘工業団地地区センター他	2名
12 月 12~14 日	チェーンソー作業従事者特別教育講習会	キャタピラー教習所	1名
2 月 2 日	長生荘救命講習会	長生荘	13名

(6) 組織活動の強化

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」に基づき、各組織において随時諸事業を展開しました。

総務委員会	センターの普及啓発、各種調査と新規会員の勧誘活動、配分金及び事務費の検討
安全委員会	会員の就業と安全確保、事故の防止等
広報委員会	広報誌の編集・作成
職群班	職種ごとに必要に応じて職群班の編成及び就業先のリーダー選任
地区委員	地域会員とセンター事務所のパイプ役

(7) 一般労働者派遣事業の推進

公益財団法人いきいき埼玉の実施事務所として、一般労働者派遣事業を推進しました。令和5年度は2事業所と労働者派遣個別契約書を締結しました。

(8) 社会参加の推進

会員が、次のボランティア活動等に参加しました。

期 日	内 容	場 所	人 員
12 月 8 日	長生荘ボランティア清掃	長生荘	41名